

第7回 富山市上下水道事業経営審議会 会議録

- 1 日 時：令和8年1月22日（木） 午前9時30分～午前11時15分
- 2 場 所：Toyama Sakuraビル 5階 中会議室
- 3 出席委員：社会長、森口会長職務代理、上田委員、尾畑委員、北岡委員、猿田委員、田中委員、中村委員、西口委員（会長、会長職務代理を除いて50音順）
- 4 オブザーバー：富山県厚生部生活衛生課課長補佐
- 5 事務局：上下水道事業管理者、上下水道局長、上下水道局理事、上下水道局次長、上下水道局次長（技術担当）、経営管理課長、契約出納課長、料金課長、給排水サービス課長、水道課長、下水道課長、上下水道施設管理センター所長、流杉浄水場長、浜黒崎浄化センター場長、水橋浄化センター所長、東上下水道サービスセンター所長、西上下水道サービスセンター所長

事務局	<p>定刻となりましたので、ただいまから第7回富山市上下水道事業経営審議会を開会いたします。</p> <p>本日はご都合により2名の委員がご欠席でございます。</p> <p>それでは、開催にあたり、上下水道事業管理者の前田からご挨拶を申し上げます。</p> <p>皆さんおはようございます。そしてまた本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>今年の冬一番の最強寒波の襲来の中での開催となりました。皆様方には大変悪天候の中、遠方からご足労をいただいたものと思っております。こうした中で、今年、最初の審議会にご出席を賜りましたことに対しまして、改めて厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>さて、この経営審議会は、一昨年令和6年8月26日に、最初の会議を開催させていただきました。そして昨年の4月までに計6回、審議をいただきました。</p> <p>審議の内容につきましては、昨今の物価上昇、或いはエネルギーコスト、人件費等が上昇している中で、上下水道施設の老朽化、或いは耐震化への適切な対応といった大変厳しい様々な課題に対して、将来的にも持続可能な上下水道事業とするために、この上下水道料金がどうあるべきかということについて、計6回にわたり、丁寧に審議をいただきました。</p> <p>その上で5月14日に社会長から答申をいただきました。本当に中身の濃い、ご議論を丁寧に重ねていただきました。</p> <p>そのおかげで、6月市議会で（料金改定の条例が）可決されました。全会一致とはいきませんでしたけれども、大多数の賛同を得て可決されました。</p> <p>これもひとえに皆様方の本当にご熱心な、そして丁寧なご審議の賜物と思っております。</p> <p>改めて重ねて感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。</p>
-----	---

	<p>した。</p> <p>そこで本日の審議会におきましては、18年ぶりの上下水道料金の改定が昨年の6月議会で了承された以降行ってきた、市民の皆様への周知であるとか、なぜこの改定が必要なのかといった説明など、現在に至るまでの活動につきまして、まずはご報告をさせていただきたいと考えております。</p> <p>また、上下水道事業の経営戦略について、いわゆる総合計画に相当する中長期ビジョンというものがありまして、計画期間は10年でございます。</p> <p>これが令和8年度で計画期間が終了し、令和9年度からは、いよいよ第3次の中長期ビジョンが始まります。この令和9年度からの次期中長期ビジョンの策定スケジュールやこれまでのビジョンの進捗状況などについてご説明をさせていただきたいと考えております。</p> <p>また、具体的な3次ビジョンの中身につきましては、次回以降に説明し、その都度ご意見を伺ってまいりたいと考えております。そして、年内には第3次ビジョン案を策定させていただきたいと考えております。</p> <p>主だった審議事項は以上でございます。</p> <p>引き続き委員の皆様には、今後とも忌憚のないご意見を賜りますようお願いを申し上げます。</p> <p>本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>それではこれより議事に移らせていただきます。</p> <p>ここからの議事進行については、会長をお願いいたします。</p>
会長	<p>みなさん、お久しぶりです。ここのところの1年、世界情勢が目まぐるしく変わり、朝起きるたびにこんなことが起きて大丈夫なのかと心配をしていました。今度は国内においても総選挙になりまして、国内もなかなか大変になってきましたけども、世界はどうであろうとも、日本がどうなろうとも、富山はしっかりマイペースで市政を運営して、皆さんと共に街を作って行けたらと改めて思っているところであります。本日もよろしくお願い致します。</p> <p>それでは事務局の方から、今回の資料の説明をお願いします。</p>
上下水道局次長	<p>《事務局から「第7回富山市上下水道事業経営審議会資料（1 上下水道料金の改定についての答申後、現在までの取組状況について）」を説明》</p>
会長	<p>それでは、ただいまの説明につきまして、皆様方からご質問・ご意見ありますでしょうか。広報につきましては皆さんのご意見のとおり、しっかり市民に配慮した形で行ったという話でありまして、これから新しい試みも行っていくということで、頑張ってもらいたいと思います。</p>
A 委員	<p>9月からお客さまサービスステーションを設置されたということですが、これ</p>

	<p>は誰か常駐している人がいるのでしょうか。お客様の相談受け付けとありますし。それから、どのぐらいの方が訪れられているのでしょうか。</p>
会 長	<p>はい。事務局お願いします。</p>
経 営 管 理 課 長	<p>お客さまサービスステーションにつきましては、人材派遣会社の方に依頼をしております。基本的に9時から16時まで、1名の職員が常駐している形になっております。</p> <p>それでサービスステーションの利用者数は、後程お答えいたします。</p>
上下水道事業管理者	<p>よろしいですか。</p>
会 長	<p>はい。</p>
上下水道事業管理者	<p>実はですね、富山市役所の中に上下水道局の部門がなく、(上下水道局の)庁舎は(市役所から)離れている所がございます。</p> <p>やっぱり市民の方から電話等でのご相談はありますけども、(市役所から)離れているということから、市役所の中にそういうコーナーを設置したいと。</p> <p>過去には、料金を払う窓口が(市役所内に)ありましたけども、コンビニ納付や銀行口座振り込みなど、料金の支払い手段が多様化してきたものですから廃止になっておりました。</p> <p>ただやっぱりこれからはいろいろ情報発信をしていかなければならないということとあわせて、市役所にこられたときに、例えば死亡届など市民課にこられたときに、その時に水道の契約者の届け出を変更するとか、何か市役所にこられたときに水道の手続きも一緒にやってもらったら、市民の皆さんの利便性が上がると思えまして設置したものです。ここがたまたま元は職業紹介所(JOB活とやま)のスペースでしたが、去年の7月で廃止になったことから、このスペースを利用して開設させていただいたところがございます。</p>
経 営 管 理 課 長	<p>大体一月500人ぐらいが来所されており、1日当たりになると25から30人ぐらいになります。</p>
上下水道事業管理者	<p>ウォーターサーバーがありますので、水を飲みこられるだけでも結構だというふうにお伝えさせていただいています。</p>
A 委 員	<p>はい、ありがとうございます。</p>
会 長	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>はい、B委員。</p>

<p>B 委 員</p>	<p>今度新しい取り組みとして、ワークショップというのを計画されて、27名の参加者で、これから進めていかれると思いますけども、将来的に富山市民としてのプライドというか、誇りを持つため（の取組の）1つに、富山のおいしい水、そしてそれがわかる人を育てていくということで、大変良い試みだと思いますが、これからも持続可能な取り組みでしょうか。</p> <p>他にもいろんな市民大学とか、特に上水道ではいろいろな受け入れをされたりしていますけれども、そういうこととこれとの関係と言いますか、どういう風になりますか。（ワークショップは）良い取り組みだし、継続して、ぜひ市民へ広報してもらいたいと思います。</p>
<p>上下水道事業管理者</p>	<p>はい。ご評価をいただきましてありがとうございます。</p> <p>これからということで来月（2月）27日から（ワークショップが）始まりますが、先ほどもお話をさせていただきましたが、（参加者は）27名で、このうち20代の方が4名おりまして、この中には富山国際大学、それから富山大学の学生さんも入っていらっしゃいます。本当に大変ありがたいと考えております。</p> <p>この取り組みは、資料の16ページにもございますけれども、これ（ワークショップ）はもともと、岩手県の矢巾町という盛岡市から車で30分ぐらいのところにある町で、20年近く前から行っている取り組みです。市民との対話型のワークショップという形で進めていくということで、本音の討論と言いますか、最初は参加者からも、どちらかという批判的なご意見とか料金に対してのクレーム的なご意見が結構多かったということですが、一方で実際の現場の状況などを知っていくうちに、逆に上下水道事業に対する応援サポーターになっていただけ、市民の意識の変化というものが非常に見られたということで、矢巾町はずっとこれを持続していらっしゃるそうです。</p> <p>その中心となったのが吉岡さんという（矢巾町）上下水道課長です。</p> <p>私は去年9月に実際に矢巾町に行って、ワークショップの現状を見させていただきまして、町だからできる取り組みと言うのではなく、富山市としても大いに参考にするべきだと感じました。そこで今年から取り組みを始めさせていただくということにしました。まだ、具体的な中身は我々も勉強中なところでございますけども、委員がおっしゃられたとおり、これは継続してやることにこそ意味があると思っておりますので、今のメンバーの方が来年度いっぱい活動が終わった後は、また次の第2世代、第3世代という形で継続をしていきたいと考えております。</p>
<p>B 委 員</p>	<p>私からのひとつの意見ですので、受けとめていただければと思います。</p> <p>ぜひ水の品質（の良さ）などがわかる水ソムリエを育成するとか、そういうふうに進んできたなら富山としての特徴が出てくるかなと思いましたので、職員の方はすごく大変だと思いますが、これまでの事業を見直しながら、こういうような</p>

		<p>ことを今年やっていただいて、うまくいけば何か（似たような取り組みを）集約していくということもあるのかなと思ひ発言させていただきました。どうぞよろしくをお願いします。</p>
会 長		<p>はい。C委員。</p>
C 委 員		<p>はい。非常に積極的に広報に努められてるということが、今の説明でよくわかりました。</p> <p>それとタウンミーティングのアンケートの結果でもですね、やはり市民の方には丁寧に説明すれば、料金改定の必要性だとかインフラの老朽化・耐震化、こういうものにも手当していかなくちゃいけないっていうことは、理解していただけたと思います。</p> <p>それで、今後も広報は継続してやっていっていただきたいなと思います。</p> <p>新たなものとして情報紙の上下水道局だよりを創刊されたとありますけども、今年度は年3回で、この配布先はどういったところになっているのでしょうか。全世帯ではなかったのですかね。</p>
経 営 管 理 課 長		<p>はい。今年度につきましては予算の関係で発行部数がそこまで多くなかったものですから、公共施設等に配布して、パンフレットの棚等に置かせていただきました。</p> <p>来年度につきましては予算を拡充いたしまして、町内会の班回覧で各世帯の方にも目が届くように対応したいと考えております。</p>
C 委 員		<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>より多くの方の目に触れるように、そこは工夫していただきたいなと思います。</p> <p>それと広報の仕方も、非常に事務は大変にはなるとは思いますけれども、ホームページを使ってやっていく予定はあるのでしょうか。</p>
経 営 管 理 課 長		<p>はい。今現在、富山市上下水道局独自のホームページはない状態になっております。</p> <p>富山市役所のホームページの一部に上下水の関係のページを持っている状況になっておりますけれども、今年度中には上下水道局独自のホームページを開設できるよう調整中です。</p> <p>その中で上下水道局の様々な取り組みをわかりやすく特集したものを掲載できると考えておりますので、ホームページも活用して情報発信に努めてまいりたいと考えております。</p>
C 委 員		<p>ありがとうございます。やはり若い人たちに届くような情報発信の仕方にも留意して、積極的に発信していただきたいなと思います。</p>

	<p>そして、そういうことで（情報発信を続けることで）上下水道事業を理解してもらうということが、今後、大変重要になってくるのではないかなと思っております。</p> <p>また、先ほどの（情報紙）創刊号が班回覧になれば、やはり皆さん目を通されると思いますので、非常に良いことだと思います。よろしく願いいたします。</p>
会 長	はい。D委員。
D 委 員	<p>丁寧な説明ありがとうございます。</p> <p>検針票の裏に料金改定のお知らせが書いてあったなんて、全く気づきもしなくて。私ですらそうですので、ほとんどの人は金額だけ見て捨ててしまうケースの方が多くはないかと考えると、リーフレットだとかチラシを全世帯に撒くとなると相当な印刷コストがかかるということになりますけれども、意外と裏なんて見ないよっていうことをお伝えしたいなと思いました。</p> <p>あと12ページのところに、スマホ検針とかスマホアプリの改修とありますけれども、今現在の検針というのはスマホを使って検針をされているということなのでしょうか。教えていただけたら幸いです。</p>
会 長	はい。事務局お願いします。
料 金 課 長	今ご質問がありましたスマートフォンによる検針については、従来もスマートフォンを使って各担当エリアに分かれた検針員が検診記録のデータ収集を行うというような形で運用しております。
D 委 員	全部というわけではなくて一部ということでしょうか。全件をスマホで集約しているということでしょうか。
料 金 課 長	スマートフォンで全件の検針を行っていて、検針記録を取った上で検診票を配布していくというような形で行っており、検針票の裏面を使った料金改定の通知も併せて行っているといった流れとなっております。
上下水道事業管理者	検針員の方が各ご家庭を回りますけれども、その時にスマホで読み取ったもの（水量）がそのまま検診票に印字されて出てきて各家庭に配ります。そのデータは、上下水道局に行きます、全部繋がっています。そのようなシステムになっております。
D 委 員	効率的に行っているということですね。
上下水道事業管理者	そうです。

D	委員	ありがとうございます。
会	会長	はい。上下水道部門は料金だけではなく、システム的なことも含めて最もデジタル化が著しい領域であって、上下水道を一体化するにあたってシステム化も大きい（要素）と切実に感じると同時に、先ほど広報の話もありましたけど、一方でアナログのサービス提供、アナログの相談窓口も重要なところで、この2つをうまく使いながら効果を上げていくというのが、非常に重要なことだと思っております。そうした中で私も1つ伺ったのはホームページも工夫し、局独自のホームページも作りながら情報提供するというので、これに関して、市のホームページとのリンクですね。これをしっかりうまくやって欲しいというのが1つです。あといわゆる相談機能ですね。これがデジタル上の相談も可能にしていくような方向なのか、そうではないのか。これは今、どのような感じでしょうか。
上下水道事業管理者		ありがとうございます。 先ほどご説明しましたように上下水道局独自のホームページの開設に向けて準備をしており、当然富山市の公式ホームページにもリンクを貼って連携をするような形を考えております。 それからもう1つは相談機能ということでございまして、これについてはやはり重要な点だと思っておりますので、富山市のホームページでのお問い合わせもそうですし、公式LINEも開設しておりますので、今はございませんけども、そちらの方でも上下水道局に関するお問い合わせ、相談機能みたいなものを今後充実していかなければならないと考えております。
会	会長	ありがとうございます。 よろしいでしょうか。 それでは、続きまして、次期中期ビジョンの策定ですね、これにつきまして、事務局の方から説明をお願いします。
上下水道局次長		《事務局から「第7回富山市上下水道事業経営審議会資料（2次期中長期ビジョン（経営戦略）の策定について）」を説明》
会	会長	はい。それではただいまの説明につきまして、皆さんからご質問・ご意見をお伺いします。いかがでしょうか。
上下水道事業管理者		会長。
会	会長	はい。

<p>上下水道事業管理者</p>	<p>かなり端折った説明で、皆さんにもう少し説明が必要かと思います。</p> <p>冒頭ご挨拶の中でも申し上げましたけれども、いわゆる総合計画というのは、それぞれの自治体が大体5年から10年間のまちづくりの基本方針、基本理念というものを定めて、それに基づく具現化するための政策体系を総合計画に策定するわけでございます。</p> <p>ちょうど今、富山市も第3次総合計画の策定作業を行っているところでございまして、本審議会の森口委員さん、北岡委員さん、田中委員さんも総合計画の審議委員になっていただき、ご議論いただいているわけでございますが、それと並行して富山市の上下水道事業におけるいわゆる総合計画に相当するものを来年度中に策定するということです。</p> <p>先ほど説明を飛ばしましたが、参考資料2をご覧いただきたいと思います。</p> <p>現在の10年間のビジョンであります第2期中長期ビジョンの基本構想に該当するものがこの資料でございます。いわゆる基本理念、それからそれに基づく経営方針、そしてそれを具現化するための施策の体系と35の主要事業を網羅しているものでございます。最終的にはこういった形の第3次中長期ビジョンを作っていきます。併せまして、配水幹線の耐震化率や下水道管の耐震化率といった主要事業の成果目標というものも定めていきたいと考えております。</p> <p>それで今回はこの第3次中長期ビジョンにつきまして、これから本格的な策定作業を進めてまいります。その途中途中で審議会の委員の皆様にご説明をし、ご意見等を賜った上で修正を重ねながら年内を目途に策定を進めていくというような流れになります。やや遅れ気味かとお感じになられる方もいらっしゃるかもしれませんが、本体の総合計画との整合性を図りつつ進めたいということで、総合計画よりも1歩遅れたような形で作業を進めていくというような想いでいるわけでございます。</p> <p>私からの補足説明は以上でございます。</p>
<p>会 長</p>	<p>はい。ありがとうございます。いかがでしょうか。</p> <p>A委員。</p>
<p>A 委 員</p>	<p>ご説明ありがとうございました。今後、第3次ビジョンを作られていくということで、基本理念、経営方針がその中で明らかになっていくものと思っているのですが、第1次と第2次中長期ビジョンのご説明をいただいたときに、やはり流れとしては、第1次中長期ビジョンでいろいろな施設を整備してきました。第2次中長期ビジョンでは、やはり人口減少が始まって、持続可能な経営というテーマの中で効率化も進めていっちゃったということなので、おそらく次の10年を見渡したときに、私も総合計画の審議の参考にさせていただくとすると、やはり人口減、あと世帯数も減ってくるという現状が富山市の中ではあると思います。そういったことを踏まえた上水、下水道の経営を考えていただく必要がある</p>

	<p>のかなと思っています。その中でやはり、私たちは大きいテーマだなと思ってるのは、1つはやはり10年間で行政にかかるリソースがかなり厳しくなってくるのではないかという中で、いかに民間の力を借りながら効率化を進めていくかという視点をより強く意識する必要があるのだらうと思います。</p> <p>今足元でもウォーターPPPの取り組みなど、1歩進めた形で検討されていると思いますけれども、そういった取り組みの成果がきちんこの中長期ビジョンの中にも反映されるように盛り込んでいただきたいということと、そういった効率化をしてもなおですね、安定的な水の供給を実現するために必要な投資を賄うための料金の見直しというのは、やはりその10年間の中できちんと検討できるようなたてつけにすることが必要だと思っております。</p> <p>意見ですが、以上になります。</p>
会長	<p>はい。ちなみに今の総合計画だと前提にしている人口減少、世帯数の減少はどのくらいでしょうか。</p>
上下水道事業管理者	<p>富山市は、去年、人口推計を行っておりまして大体1年で今後2,500人前後減ると見込んでいます。</p>
会長	<p>自然減で。</p>
上下水道事業管理者	<p>はい。</p> <p>富山県全体でいくと毎年1万人が減少して、10年で10万人が減少していくと見込んでいます。</p>
会長	<p>世帯数も減る。</p>
上下水道事業管理者	<p>世帯数はもう何年かするとピークを迎えて、そのあとは減少傾向に入ると。今はまだ若干増えておりますけども、早晩、世帯数もピークになる。</p> <p>総合計画審議会の委員さんからの総合計画策定におけるポイントはそのまま我々のビジョンにおいても重点テーマという形で取り入れて、それを前提としたビジョンを作っていかなければならない。</p> <p>ただ、10年間だけを見るのではなくて、例えば我々は2050年、今から25年後の姿というものを想定して、その中の前半の10年はどう布石を打つべきかというような、そのようなビジョンにしていかなければならない。</p> <p>これまでの延長線上で、単純にもう（管路の耐用年数である）40年が来たから更新を進めていくというようなやり方は、これからは難しい。</p> <p>なぜならばやっぱり人口減少していく中で、今の資産とか資本を維持していくときは、毎年料金を改定していかなければならない状況でございますので、今のシステムそのものを抜本的に見直すということも想定をしながら、優先順位をつ</p>

<p>経営管理課長</p>	<p>けた施策を打って行かなければというふうに考えております。</p> <p>そのためには市民の皆さんとの共通理解が必要ということで、先ほどのワークショップなどもこれからは活用し対話を進めながら、上下水道事業のあり方を市民と共に考えていきたいと考えております。</p> <p>もちろん経営審議会の皆さんにも、ご意見をいただきながらビジョンの策定を進めていく、基本的にはこのように考えているところでございます。</p> <p>先ほど人口と世帯数の関係のご質問がございまして、人口については先ほど管理者からお答えいたしました、世帯数については令和12年をピーク、これが18万3000世帯あまりですけれども、そこから徐々に減っていくという想定になっております。</p> <p>2050年には17万世帯あまりということで現状より約1万世帯が減るという想定を人口推計報告書では示しております。</p>
<p>会長</p>	<p>なるほど。今、従前の（考え方による）計画で10年先を作るのも大変ですけども、しかし上下水道は長期にわたってかなり一貫した投資をしていかなければならず、まさに10年では短すぎる。四半世または半世紀を見据えて適正な投資を粛々としていくことが必要なわけで、ぜひ総合計画も踏まえながら上下水道中長期ビジョンを作成いただきたいと思います。</p> <p>その他いかがでしょうか。</p> <p>はい、E委員。</p>
<p>E委員</p>	<p>自治振興会でございます。</p> <p>今ほどの説明で人口減よりも世帯数減の方が上下水道にとっては非常に関連が強いというふうなことを思います。</p> <p>この後、料金改定の必要性が迫ってくるということであればなおさらのこと、住民の理解というものが基本になってくると思います。</p> <p>先ほどから、理解を得るためには非常に大きな啓発活動等が必要になってくるわけですが、タウンミーティングや公開講座等々、より上水道下水道が住民生活の身近なものであるということの理解を得るためには、説明会というのとはとても必要になってくると思います。</p> <p>自治振興会では、令和7年度・令和8年度には、今、防災減災ということが叫ばれておりますので、避難所等におけるとても大切なこととして、私たちは情報と水と食料、これが住民生活にとってとても大切なことなんだろうと思っているわけでありまして、その中の水の必要性。そのためにはより頻繁な啓発活動広報活動が必要になってくると。</p> <p>特に、避難場所における水の確保、或いは下水道の設備更新ということについて啓発活動等を行っていただきたいと考えております。</p> <p>意見です。</p>

会 長	はい。事務局どうですか。
上下水道事業管理者	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>まさしく有事の際、或いは大きな地震などが起きた時、避難所における水道のみならず下水道、この両方が使えないと避難所としての機能が果たせないということは、我々は能登半島地震の教訓として、十分認識させられたわけでございまして、まさに昨年2月に策定した上下水道耐震化計画におきましても、これまで水道は水道、下水道は下水道とそれぞれバラバラに計画を定めていたものを、これまでの計画は尊重しつつも、富山市内にある200ヶ所の避難所においての上下一体的な耐震化というものは、強力に推進していかなければならないと考えております。</p> <p>委員がおっしゃられたような観点でも、今後ビジョンにしっかりと反映できるように努めていきたいと思っております。</p> <p>ありがとうございます。</p>
会 長	はい。F委員お願いします。
F 委 員	<p>先ほど説明の中で人口減少と世帯数減少の話がございましたが、私は山間地の方に住んでいるものですから、人口の減り具合は市街地と比べるともっと速いスピードで減ってるわけです。</p> <p>それで水道については、簡易水道から上水道になったのですが、下水道につきましては合併浄化槽が非常に多い地域でして、市街地周辺でも人口が減ってくるということになりますと、下水道の管がたくさん通っていると思いますがその更新も必要で、世帯数が減ってくるとなりますれば、合併浄化槽への切り換えや周辺の大山・大沢野・細入・八尾・山田・婦中の下水道施設をどこかの時点で集約しまして1つにするという方法も考えていかないと、一方的に料金を上げてばかりだと市民感情としたら、また（上がるの）かという感じがあると思っております。</p> <p>この辺のところも（次期ビジョンの策定に）含めていただいて、もう少し広域的に旧市と旧町村地域の違いを対比できるようにやっていただけたら、我々としては助かると思うんですが、その辺いかがでしょうか。</p>
会 長	はい。事務局お願いします。
上下水道事業管理者	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>まさしく人口も減り世帯数も減っていく状況の中で、今のままのシステムのやり方でそのまま投資をしていくとなると、これは料金改定を毎年延々続けていかなければならないということに繋がっていくことと思っております。</p> <p>今、国の方も、ようやく舵をきりまして、言葉とすれば「集中型と分散型のベ</p>

	<p>ストミックスを」という表現を使っていますが、従来型の管で繋いで1ヶ所で、富山市で言うなら浜黒崎浄化センターで集中的に浄化しているシステムですが、これも重要ではありますが、今後人口が減少していく中で、これまでの方式ではなくて、例えば合併処理浄化槽への切り換え、そういったようなものをうまく組み合わせながら、最適な上下水道事業の運営のあり方というものも、これからは模索していかなければならないと考えております。そのためにはやはり最終的にはその地域に住んでいらっしゃる住民の皆さんの理解と納得を得ることが必要になってくると考えております。</p> <p>ある日突然、「ここは合併処理浄化槽へ切り換えます」というわけにはいかないので、この点についてはしっかりご理解をいただけるようにその計画を策定する段階から市民の皆さんと一緒に考えていく必要があるかと考えております。</p> <p>いずれにしても方向としては、いわゆる集中型と分散型をうまく組み合わせながら、この上下水道システムを将来にわたって維持していく方向に切り換えていかなければならないと考えております。</p> <p>ありがとうございます。</p>
F 委員	<p>2通りのやり方があると思います。</p> <p>例えば、(市町村) 合併して20年経ちますけども、例えば大山町は一番最初に町としては(下水道の) 制度が入ったと思いますが、経年劣化もありますし、周辺地域と処理場のやり方(処理方法) が違うかもしれませんが、処理の目的としては水を綺麗にして流しましょうということで一緒だと思います。</p> <p>ですからそういうところの(下水処理) 施設を、2つを1つにするということも考えていただきたいのと、富山市の場合は真ん中に神通川がありまして、片方には常願寺川と熊野川といった大きい川が3つありますから、なかなかこれ(処理場) を1つにはできないと思います。</p> <p>そのできないものをどうしたらできるようになるかということを考えていただかないと、今後は(経営が) 厳しいのではないかと私は思っておりますので、ひとつよろしく願いいたします。</p>
会長	<p>どうですか、事務局の方で。</p> <p>特に農水省さんがそうですけれども、ガット・ウルグアイ・ラウンド対策の時に、かなり公共下水道(の整備) を進めてきて、そのあとは何とか広域化の方で施設を見直しながら効率化できないかと変わってきた。</p> <p>最近、今のご指摘にも少しありましたけど、合併浄化槽に移換した方が地元負担も含めて適格にサービスを提供し続けられる。</p> <p>アメリカもそうだと思いますけども、合併浄化槽の方がメインだったりするので、そこも含めてどうやって最適なサービスを提供するかということです。</p> <p>いずれにしても市だけで一方的に決めてできる話ではなく、地元の皆さんの合</p>

<p>下水道課長</p>	<p>意とその負担がないとできない話になってます。</p> <p>そういう意味でも水に対する理解を進めて、今おっしゃられたように今までの発想を生かしながら、どれが最適なのかということ市と地元と一緒に考えていくといったことをこのビジョンの中に含めていくということではないかと思えます。</p> <p>よろしいでしょうかね。最後に一番大きな指摘がありました。</p> <p>それではここで、先ほど配付させていただきました追加資料です。</p> <p>マスコミ等でも騒がれているそうですが、月岡西緑町地内における下水道管への不明水調査の結果につきまして、事務局の方から説明をお願いします。</p> <p>《事務局から「第7回富山市上下水道事業経営審議会資料（月岡西緑町地内における下水道管への不明水調査の結果について（報告））」を説明》</p>
<p>会長</p>	<p>はい。いかがでしょうか。</p>
<p>上下水道事業管理者</p>	<p>補足させていただきます。</p> <p>連日、新聞やテレビ等で報道されている中で、下水道管が見つかったということで、下水道管となると「我々に管理責任があるのではないか」、「上下水道局は何をやっていたのか」というふうに誤解をされる市民の方もいらっしゃるかと思います。</p> <p>我々は下水道管とは考えておらず、これは先ほど説明があったように、当初は富山県住宅供給公社が下水道管として埋設したものの、その後、いわゆる下水道管としては使用しないまま（放置した）。</p> <p>追加資料2-2にありますように、この区画道路の下に埋まっているものが正規の下水道管でございまして、これらはまさしく下水道管であります。</p> <p>今回見つかったのは、当時は下水道管として住宅公社が整備されたのかもしれませんが、結局我々の立場からすればこれは用途のわからない不明管が見つかったと考えておりました、そのように言って（報道して）いただければ分かりやすいと考えております。</p> <p>いずれにいたしましても、ここ（不明管）からの水が大量に下水道施設に流れ込んできている。おそらくこの地域の地下水がこの時期に（流れ込んできている）。地下水は季節に応じて（水位が）上がったり下がったりしていますので、夏場になると地下水が（流れ込んできている）。周辺は田んぼですので、（田んぼに）水を張ったりした影響なのかはわかりませんが、梅雨時期ということもあって地下水が上昇したときに不明管の管口から地下水が入り込んで、それがマンホール内に大量に流入していると。</p> <p>この大量に流れ込んできている不明水を分析するため、この団地内の真ん中に流れています千俵川の水と、この近くで井戸を使っている社会福祉法人ルンビニ園さんの地下水をサンプルとしてとらせていただきました。</p>

	<p>それらと不明管から流れ込んでいる不明水とを分析したところ、千俵川の河川の水質ではないと（言うことがわかり）、地下水にほぼ似た成分結果だったことから、地下水が不明管を通じて流れ込んできて下水道機能に負荷を与えていると、我々は判断をさせていただいているところでございます。</p> <p>いずれにいたしましても、昨年夏以来、富山県に対して改善するよう文書でお願いをしております。</p> <p>県も昨日、知事の会見にもありましたように、住民の方にはこれから説明をして、まずは地下水、不明水を止める作業を行い、その上で、この不明管がおそらく住宅下に配管されているということが想定されますので、その調査結果を踏まえて、住宅の下に管路があるお宅への対応は個別にされるとお話を聞いております。我々としては県の対応を見守りさせていただくとともに、この団地内の区画道路の下にも不明管があったときには、それが原因で陥没事故が発生する可能性があるかもしれないので、しっかりと道路の空洞調査を行い、そういう恐れがないかということについては、点検をしていきたいと考えているところでございます。</p> <p>補足は以上でございます。</p>
<p>会 長</p>	<p>はい。いかがでしょうか。</p> <p>（県生活衛生課長の）代理出席ですけども、なにかありましたらご発言いただければと思います。</p>
<p>県生活衛生課課長補佐</p>	<p>県生活衛生課です。下水道関係は所管しておりません。申し訳ありません。</p>
<p>会 長</p>	<p>はい。分かりました。</p> <p>みなさんから、他にございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>次に予算要求にかかる事務連絡がございます。</p> <p>これは未決定の事案ということですので、ここからは非公開とさせていただきます。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>恐れ入りますが、報道関係者及び傍聴者の皆様はご退出をお願いします。</p>
	<p style="text-align: center;">以下、非公開</p>
<p>事 務 局</p>	<p>会長並びに委員の皆様、ありがとうございました。</p> <p>これをもちまして、第7回富山市上下水道事業経営審議会を終了いたします。</p> <p>なお、次回の審議会の日程は、改めてご案内させていただきます。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>